

てんのう 天王遺跡

遺跡番号 平成8年度登録
調査回数 第2次
所在地 山形県南陽市大字漆山字天王・塚原二
北緯・東経 38度3分26秒・140度7分4秒
調査委託者 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所
調査原因 国道113号線赤湯バイパス改築事業
調査面積 6,500㎡
現地調査 平成19年5月10日～10月19日
調査担当者 高橋一彦（調査主任）、吉田江美子
調査協力 置賜教育事務所・南陽市教育委員会
遺跡種別 墳墓跡・集落跡
時代 古墳時代・奈良、平安時代・中世
遺構 周溝・溝・堀・井戸・土坑・柱穴等
遺物 土師器・須恵器・中世陶磁器・木製品・石製品
(文化財認定箱数：51箱)



調査の概要

天王遺跡は南陽市宮内の熊野大社から南西約4kmの河岸段丘上に位置している。調査区北側には地元の人が「テンノウさま」と呼ぶ祠ほこらがあり、遺跡名の由来にもなっている。遺跡の北東の大仏（おぼとけ）集落には山形県指定文化財の「文和三年阿弥陀板碑」が建つ。

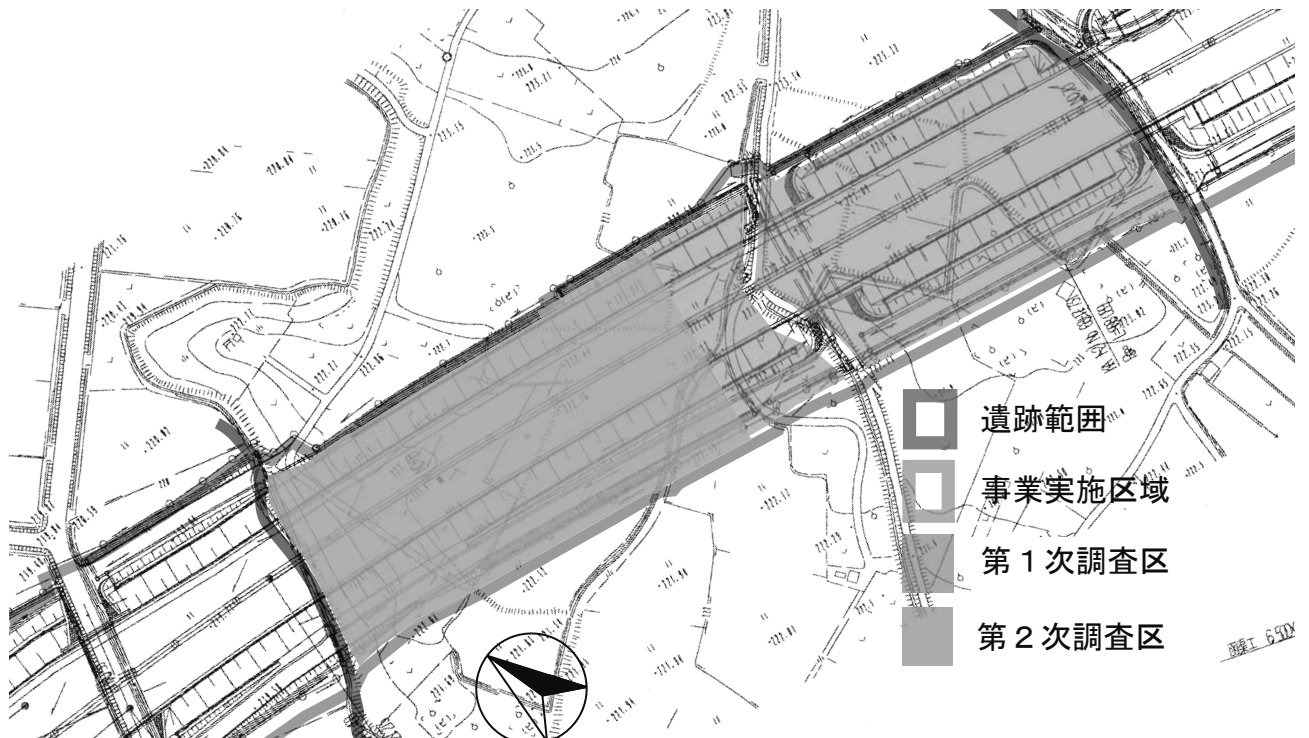
今回の調査は昨年度の1次調査に続き、事業に係る遺跡の13,000㎡のうち6,500㎡を対象に実施した。

遺構

古墳時代の溝跡、中世の掘立柱建物跡・井戸跡・堀跡

などが見つかった。古墳時代の遺構の主なものは次のとおりである。直径18m前後の円形に巡る溝跡が3基見つかった。調査では墳丘や墓坑の存在を確認することはできなかった。そのため、この遺構を円墳と見るか、円形周溝墓と見るかは議論の分かれるところである。遺構から出土した遺物などから、これらの周溝は4世紀頃造られたものと考えられる。この時代の古墳の構造から考えて、地山部分に墓坑が見られないということはこの遺構が墳丘を持った古墳であったと考えるのが妥当であると考えている。しかし、今後この時代の古墳に詳しい研究者の意見も聞きながら、慎重に検討しなければならない問題である。また、遺跡近隣の古墳群などとの関係がどうであったかという問題も今後の研究課題である。また、調査区中央で方形の周溝が確認された。前方後円墳の前方部の可能性も視野に入れて調査を進めた。しかし、横幅が38mという大きさに対して、溝幅が2mと狭く、古墳としてはバランスが悪い。したがって、古墳である可能性は低いと思われるが断言はできない。

中世の遺構は、調査区全体で掘立柱建物群や井戸跡が確認された。特徴的なのは調査区北東の柱穴群で、底に礎板が設置された柱穴が数多く確認された。この礎板が



調査区概要図 (1/3,000)
まとめ

出土した遺構を図面上で確認すると、見事に直線上に並び、実際に掘立柱建物が建てられたことが実証される。この掘立柱建物群は昨年度確認された堀跡に続く堀跡の北側（内側）に集中しており、中世の前半に、堀に囲まれた大規模な方形館ほうけいかんがあったという推測を裏付けるものである。また、素掘りの井戸も確認された中で、木製の井戸枠を使った井戸が数基確認されたのが特徴的である。中には使われていた当時の状態をほぼ完全にとどめた状態で出土した大きな井戸枠もある。

遺物

周溝の遺物について、下層からは古墳時代前期きだいの器台などの土師器、上層からは奈良～平安時代の土師器・須恵器が出土している。中世の遺構からは13～14世紀頃の須恵器系陶器、青磁などの中世陶磁器、木簡や曲物などの木製品、砥石などの石製品が出土している。特徴的なのは、昨年に引き続いて堀跡と、川跡から1基ずつ板碑が出土したことである。いずれも置賜地方に多く見られるがんでんがた竈殿型（家型）板碑で、屋根の下の部分が短くカットされている珍しい形の板碑である。遺跡の近くに立つ文和三年阿弥陀板碑との関連がうかがえそうである。また、縄文時代、弥生時代の土器の破片や石器の材料となる頁岩けつがんも周溝や河川跡から出土している。近くの遺跡から流れ込んだものと考えられる。

今年度の第2次調査では円墳の古墳群と思われる遺構が見つかった。これは周辺の古墳との関連を考える上で大きな発見であったと思う。古墳時代、ここ天王は亡くなった人へ祈りをささげる葬送の地であった。そして中世の時代には、「テンノウさま」を屋敷神とするほうけいかん方形館があり、堀の外側には人々の住む居住域と畑などの生産域が展開していたことが確認された。周辺の館跡との比較検討も研究課題として残る。ここは中世の時代も、神や板碑などへの祈りを大切にする空間であったと言える。時代を超えた人々の信仰がうかがい知れる。



円墳の完掘状況。杉の木の根元に小さな祠ほこらがある。



遺構配置図 (1/600)



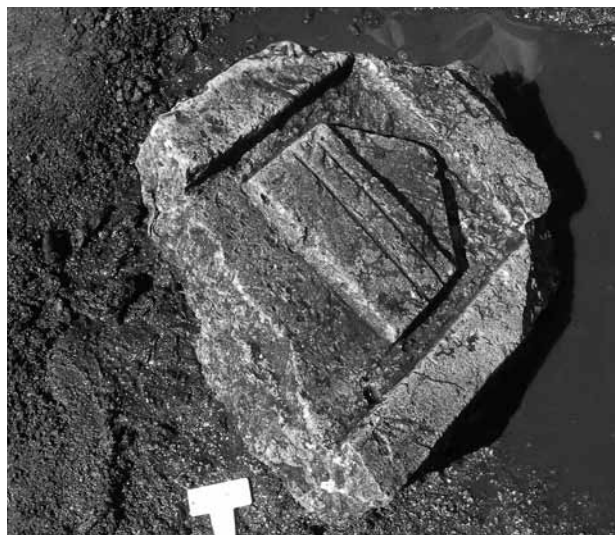
調査区西側完掘状況（上空から）



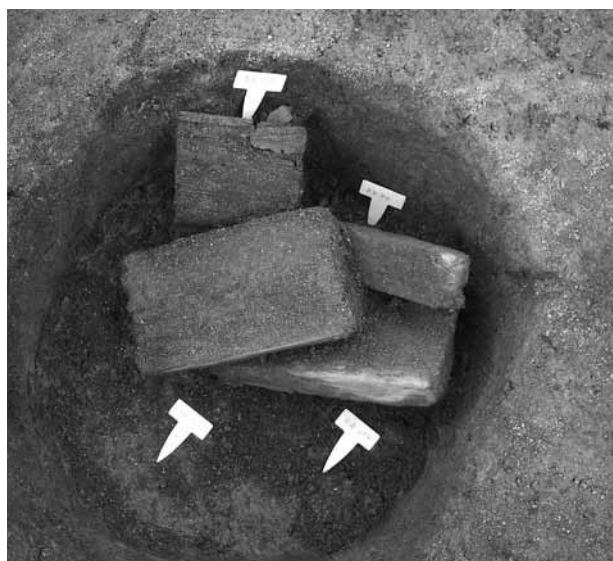
円墳（SH2）完掘状況



古墳時代の土器



堀跡から出土した板碑



礎板出土状況



井戸枠出土状況